

第56回 CIML 委員会、第16回 OIML 総会の報告 及び第28回 APLMF 総会の報告

1. 第56回 CIML 委員会（国際法定計量委員会）及び第16回 OIML 総会（国際法定計量会議）は、オンライン形式にて2021年10月18～22日、日本時間19:00～23:00に開催されました。CIML 委員会には、49カ国、約140名、OIML 総会には、48カ国、約160名が参加しました。概要は次の通りです。

- ・正加盟国及び準加盟国の分担金の値上げ等の財務案件、OIML R 60（ロードセル）、OIML R 126（証拠用呼気分析計）、OIML-CS 関連文書を改定する新規プロジェクト及びデジタル化・タスク・グループの設立等、全ての議決案が承認されました。
- ・全ての OIML 関連会議への対面及びオンラインによる参加が同等である事が確認されました。
- ・OIML-BIPM 合同タスク・グループの活動の一つとして、デジタル化・タスク・グループ（JTG）が設立されました。
- ・正加盟国及び準加盟国の等級及び分担金が大幅に見直され、日本を含む正加盟国については2022～2025年の4年間で5.7%、準加盟国については5年間で5～40倍の値上げが承認されました。
- ・OIML の運営に必要な余剰資金である内部留保金について、見直しが承認されました。
- ・出版物については、R60（ロードセル）とR126（呼気分析計）が承認されました。
- ・B12（他機関連携）、R49（水道メーター）、V1（法定計量用語集）の改定、そして医療機器と電気自動車充電施設に関する文書を作成／改定する新規プロジェクトが承認されました。
- ・OIML にとって重要な出版物（トップ11）と改定プロジェクトが更新されました。
- ・証明書制度（OIML-CS）において、ISO/IEC 17020（検査機関への要求事項）に要求事項を追加することでISO/IEC 17065（適合性評価機関への要求事項）の代替とすることが認められました。これに伴ってB1を改定する新規プロジェクトも承認されました。
- ・第57回 CIML 委員会は2022年秋に中国で開催される予定です。

2. APLMF（アジア太平洋法定計量フォーラム／Asia Pacific Legal Metrology Forum）は、OIML（国際法定計量機関）及びAPEC（アジア太平洋経済協力）と連携するアジア太平洋地域の法定計量分野の地域計量機関（RLMO）です。第28回 APLMF 総会は、コロナウィルスへの懸念からオンライン形式（Zoom 利用）で2021年11月1～2日、10:00-12:30に開催されました。この総会には加盟経済圏から約60名がオンラインで参加しました。概要は次の通りです。

- ・1日目に3講演、(A) コラボレーションツールを活用したコンプライアンスの向上（オーストラリア NMI Australia: Mr Neil YATES）、(B) 計量データに関する講演（ニュージーランド MSL: Dr Blair HALL）、(C) マレーシアにおける金の純度の測定（National Metrology Institute of Malaysia: Ts Dr Mohd Fazrulhisyam MOHD NOR）が提供されました。2日目には基調講演、デジタル・トランスフォーメーションに関する OIML の貢献（ドイツ PTB: Dr Roman Schwartz）が提供されました。
- ・ドイツ PTB（物理工学研究所）の Uwe Miesner 氏、及び Katja Lamich 氏より、MEDEA（アジア地域の計量分野の連携促進）プロジェクトの報告がありました。ここでは新しい MEDEA 3 プロジェクト（2021年5月～2024年4月）の紹介が行われました。
- ・この一年間の研修はオンラインで行われ、電力量計（2021年1月）、大流量石油計量システム（2021年2月）、包装商品（2021年3月）が実施されました。更にソフトウェア型式承認（2022年／APEC 支援）、コンベヤスケール（2022年）、車両重量の動的計量（2022年）が提案されました。
- ・6つの WG（作業部会）について概要報告が行われ、各 WG の報告書はホームページに掲載されました。多くの WG について電子研修（Eラーニング）が話題となり、今後も積極的に整備作業を続ける予定です。この総会時点の WG 構成と担当国（括弧内）は次の通りです。ユーティリティー・メーター（中国）、計量管理システム（中国）、OIML-CS（中国）、農産物品質測定（マレーシア）、包装商品（インドネシア）、はかり（マレーシア）。
- ・連携する他の機関からは、OIML（国際法定計量機関）を代表して事務局である BIML 副局長の Ian Dunmill 氏が、APMP（アジア太平洋計量計画）事務局の Juan Cai 氏が、PTB（ドイツ物理工学研究所）の Katja Lamich 氏がそれぞれ活動報告を行いました。
- ・2022年の第29回 APLMF 総会はオンラインで開催される予定です。
- ・経済圏報告については、一部の経済圏からの報告書がホームページに掲載されました。
- ・チリが準加盟経済圏から正加盟経済圏へ昇格しました。コロンビア、ラオス、北朝鮮、メキシコが準加盟経済圏からオブザーバーに降格しました。
- ・事務局より2020年度の会計報告、及び2021年度会計の経過報告が行われました。

【参考：計測標準と計量管理の記事】